

天王川公園にて行われた聖火リレーに本校生徒が参加しました

令和 8 年 9 月 6 日(日)

9 月 6 日(日)午後5時から行われた、天王川公園における「第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)聖火リレー」に、本校の生徒が参加しました。

当日は小雨が降る中、多くのギャラリーが集まりました。午後 4 時30分からの開会イベントから始まり、会場は徐々に熱気に包まれていきました。



しかし、情報管理がしっかりなされており、当日まで全ての参加生徒とリレー順がわからなかったため、どこで撮影すれば良いかわからないまま、聖火リレーが始まりました。

最初に本校生徒で走ったのは、附属中学校2年生の加藤咲樹さんでした。彼女は「第18回愛知県市町村対抗駅伝競走大会」の中学校代表です。今回のリレーにかける本人や家族の思いなどは、「9月8日(火)付け中日新聞朝刊尾張版」にて詳細が示されています。

立派に聖火を運んでいる加藤さん→

(加藤さんの写真は1枚しか撮影できませんでした)

高校2年生国際探究科の三輪小羽さんは10番目



のランナーでした。そこで前の走者からの聖火を受け取ったのですが、ビッグサプライズがありました。なんと附属中学校2年生の大宮直輝君が、前走者だったのです。図らずも付属中学校から高校へのバトンタッチの場面を撮影することができ、中高一貫校を象徴する出来事だと感じました。感激ひとしおです（なお、この聖火リレー順は偶然のもので、関係者の方も当日まで知らなかったようです）。



↑ サプライズの瞬間!!

ご両家のご家族も観覧されていて、とても喜んでみえました。

聖火リレーの最終ランナーは、高校2年生の桑原清瀧君でした。彼はタイ・ボランティア研修にも参加しており、国際的な取組に積極的な生徒です。最終ランナーとして堂々と走りきりました。その後、聖火を点火し、次の会場につなぎました。

このように日本で行われる32年ぶりのアジア大会の聖火リレーに、本校生徒が4名参加させていただいたことに対して感謝すると共に、大会が成功することを心から願っています。



今後も津島高等学校・附属中学校は、国際的な取組に積極的に参加し、地域に貢献してまいり

ます。ご期待ください。



津島高等学校全日制教頭 金澤 学